

令和7年度 教科研修会Ⅱ 保健体育科 授業の様子

単 元 名	クラスの願いが達成されるネット型のゲームをつくろう		
授 業 学 級	3年E組 (40名)	授 業 者	渡部 顕治
主 眼	クラスの願いが達成されるネット型をつくりみんなで楽しむためにはどうすればよいのか考える場面で、「3つの視点」を基にチームの課題を明確にして、課題解決に効果的な練習方法を選択して練習することを通して、自己や仲間の動きの改善についてのポイントを見付けることができる。		

【本時の様子】

生徒たちは、「アタックを決めたい」、「自滅をせずにラリーを続けたい」といった願いを達成するために、単元前半では「これまで使用していた大きなボールを小さいボールに変更する」、「投げ入れサーブを打つサーブに変更する」、「4人で4回触球を、3人で3回触球に変更する」といったルールの見直しを行い、ゲームづくりを進めてきました。

本時では、みんなで作り上げたネット型のゲームをクラスの願いに沿ってより楽しむために、『ボール操作』『ボールを持たないときの動き』『意思決定』の『3つの視点』に着目しながら、チームごとの課題を明確にし、練習方法を選択して課題解決に取り組みました。生徒たちは、前時のゲーム映像を確認しながら「セットは、ボールの落下点に入るなどボールを持たないときの動きはできている。セットのボールを安定させるためにボール操作の練習をしよう。」や、「レシーブ時にボールの落下点に素早く入るボールを持たないときの動きを身に付けるため、レシーブに特化した練習をしよう。」といったように、自分たちのチームの課題を『3つの視点』を基に明確にし、練習方法を選択して課題解決に取り組みました。振り返りでは、本時のゲーム映像を見ながら、「セットのボール操作に課題があると思っていたけれど、レシーブが正確にネットの近くに返っていないことも課題だと分かった。次回は、セットのボール操作に加えて、レシーブをネットの近くに返せるような練習もしていきたい。」と次時への見通しをもつことができました。

次時では、振り返りで出た意見をチームごとに振り返り、チームの課題を明確にししながら、課題を解決する練習方法をチームごとに決め出して、練習に取り組みます。このように、生徒の見通しを活かしながら、学びがつながる単元展開を意識していきたいと思っています。



課題について話合う生徒



選択した練習に取り組む生徒

